

AED使用の手順

9. 特殊な状況

電極パッドを肌に貼り付けるときには、気をつけなければいけないいくつかの特殊な状況があります。

(1) 傷病者の胸が濡れている場合

電気が体表の水を伝わって流れてしまうためにAEDの効果が不十分になります。乾いた布やタオルで胸を拭いてから電極パッドを貼り付けてください(図a)。



乾いた布やタオルで胸を拭く

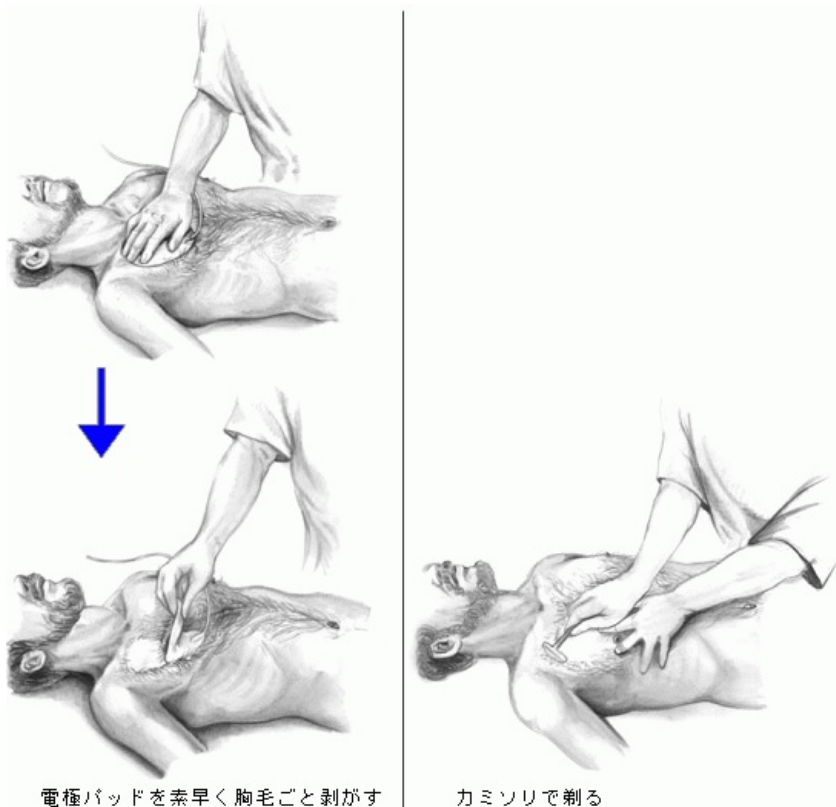
図a 胸が濡れている場合

(2) 胸毛が多い場合

電極パッドが肌に密着していないため、AEDの効果が半減するばかりでなく、やけどの原因にもなります。本来貼り付ける位置に近い所で胸毛が少ない所があれば、そこに貼り付けます。

電極パッドの密着が不良であると「電極パッドを貼ってください」や、「接触が不良です」などのメッセージが流れます。電極パッドを強く押し付けて密着させてください。押し付けてもお密着しない場合は、予備の電極パッドがあれば、最初の電極パッドを素早く胸毛ごと剥がしてから新しい電極パッドを貼り直します(図b)。

AEDケースにカミソリが入っている場合は胸毛を剃ってから貼りましょう。



電極パッドを素早く胸毛ごと剥がす

カミソリで剃る

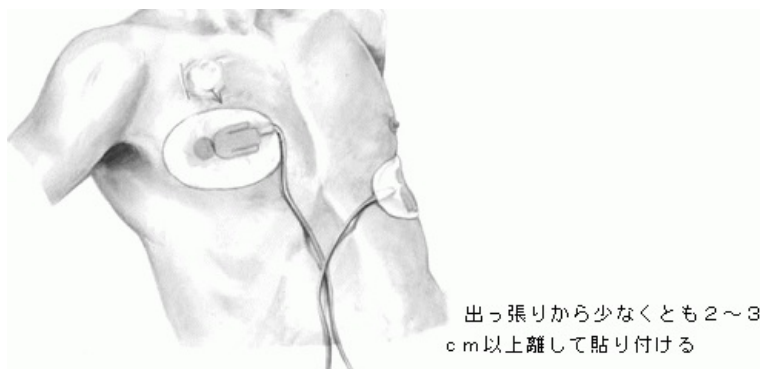
図b 胸毛が多い場合

(3) 貼り薬がある場合

ニトログリセリン、ニコチン、鎮痛剤、ホルモン剤、降圧剤などの貼り薬や湿布薬が電極パッドを貼り付ける位置に貼られている場合には、まずこれを剥がします。残っている薬剤を拭き取ってから、電極パッドを貼り付けます。貼り薬の上から電極パッドを貼り付けると電気ショックの効果が減少しますし、貼り付け部位にやけどを起こすことがあります。

(4) 医療器具が埋め込まれている場合

皮膚の下に心臓ペースメーカや除細動器が埋め込まれている場合は、胸に硬いこぶのような出っ張りが見えます(図c)。貼り付け部位にこの出っ張りがある場合、電極パッドを出っ張りから少なくとも2～3cm以上離して貼り付けてください。



図c 医療器具が埋め込まれている場合